「我が校の教育」特色ある活動紹介
市内の小中学校 全30校を毎月紹介します

第10回

郡上市立 口明方小学校
郡上市立 明宝中学校

口明方小学校

口明方小校長　中山　洌

◎地域で育つ口小の子
地域を支える口小の子

「問われて名乗るもおこがましいが生まれは遠州浜松在…60余州にかくれのねえ賊徒の帳本　にっぽん　だえも～ん～」大きく見えを切る役者。客席からの「日本一～」の声。舞台を白く埋めるおひねり。

10月第一日曜日の夜、口明方小学校体育館、高雄歌舞伎公演会、子ども歌舞伎「白波五人男」の一場面です。実はこの日は口明方のほとんどの神社の祭礼です。祭りでも獅子、役者と子どもたちは大活躍です。逆の見方をすれば、子どもたちが地域を支えている、ともいえます。子どもたちにはそうした自負もあります。地域は自分が住む土地への愛着と誇り「私は地域の役に立っている」という自尊感情を育んでいます。

◎子どもが前面に立つ学校

こうした地域の教育力の上に口明方小学校の教育が成り立っています。

口明方小学校では一～六年生まで、どの子も全校児童の前で一人で話す機会を設けていますが、どの子も緊張や不安をのりこえて堂々と話せます。これは地域の行事で鍛えられて身に付けた自信が根底にあるからでしょう。

◎合言葉は「た・か・お」

校区内には、「高雄の山の永久に…」と校歌に歌われている高雄山があります。五年生になると全員頂上に登ります。学校の教育目標は「たくましさ　かしこさ　おもいやり」と高雄山にちなんで設定されています。

運動会、学習発表会、児童会行事等では、子どもたちが「たかお」を踏まえて目標を設定し、自分たちの手でより質の高い姿をめざしています。

明宝中学校

明宝中学校の教育目標は「ふるさとを愛し、自他の命を大切にする生徒」です。自然に恵まれ、伝統文化を大切にしている地域の中で、「生きる力」をはぐくむことを目指して、ふるさと学習に力を入れています。

ふるさと学習は、地域の人材や資源を生かし、さまざまな方々の協力をいただきながら、豊かな心と主体的な行動力を育てる活動や学習を行っています。

◎「ふるサポ」の任命と
明宝地域の聞き書き学習

ふるさと学習の実績を認められるとともに、さらなる中学生の地域づくりへの参画と活動を期待し、平成25年度、公民館から全生徒が「明宝ふるさと元気づくりサポーター」に任命されました。そして、公民館や様々な地域組織と協働した明宝地域の聞き書き学習が、二年生の総合的な学習の時間を活用して始まりました。

聞き書きとは、以前作成された「奥美濃よもやま話」の中学生版として、お年寄りから明宝の昔の様子やそこで生きる人々の思いを聞き取り、作品として残す取組です。

県立森林文化アカデミーの指導を受け、学校にお年寄りを招いて、グループごとに分かれ質問形式で話を聞き録音します。それを、各自がテープを聞き原稿化し、地域のみなさんの助言を得ながら、整理し巻物のような作品にします。そして、地域組織の協力を得て一冊の本ができあがります。

生徒はこの学習を通して「話からテープに起こすのは大変だったけど、昔の地域の様子がよく分かった。お年寄りの話が楽しかった。地域の発展に努力する人の話を聞き、さらに明宝が好きになった」という感想をもちました。

◎学習発表の場、
めいほうフェスティバル

聞き書き学習、磨墨太鼓保存会の指導を受けての和太鼓演奏などのふるさと学習の成果や学校の取組は、文化祭や12月に行われる地域の文化的行事「めいほうフェスティバル」で発表します。発表を通し、生徒はふるさと明宝に愛着をもち、地域の一員としての誇りと自信を高めていきます。まさに地域で学び、地域で育つ明宝中生です。

明宝中教頭　梅田貴昭